



美方の進路

2020年7月号

No.4

～ 学びの意味を問い返す ～

今できることを一つひとつ

新型コロナで日常生活を無くした私たちですが、それより早く日常生活を奪われた人がいます。水泳の池江璃花子選手もその一人です。先日NHK特集(「ふり向かず前へ」)で病気発覚から現在まで、池江選手の様子が紹介されていました。

昨年2月に突然白血病(血液のガン)と診断され、約1年もの入院生活を余儀なくされました。東京オリンピックでの活躍が大いに期待されていた池江選手だけにその悲しみ、落胆の心中は想像に余りあるものでありました。きっと思いを重ねた人も多くいたことでしょう。



高校の卒業証書も病室でもらい、1日20錠もの服薬。「こんなに苦しいのなら死んだ方がまし」とまで思うほどつらい闘病生活だったとのこと。

しかしそんな状況でも彼女からは笑顔がこぼれます。「過去の栄光には戻れないから前を向くしかない」「これまでのような腕立て伏せができないなら、膝をついてすればよい」「まっさらに生まれ変わって、今から人生が始まるのだ」。その言葉に、池江選手の本物の強さを感じました。

特に「泳ぐ」ことに対する意識の変化。これまではライバルに勝つことや記録の更新のためだけに泳いでいた。それが病を経て「泳ぐことの意味」が大きく変わります。「病気などで生きることの苦しんでいる人に勇気を与えたい、泳ぎに使命感のようなものを感じるようになった」、と語ります。

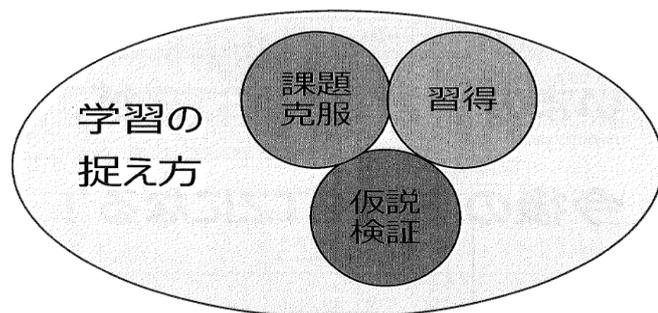
日々の取り組みへの意識が変わるとき、同じ取り組みでも自分や周囲に与える影響は大きく変わってきます。「今の自分でもできることがある。それを一つひとつ。」そう語る池江選手の言葉には重みと輝きを感じました。さあ、私たちにもできることはあります。一つひとつ!

◇「学習行動」を見直そう ～自分の学びをチェック～

1年生が受験したスタディサポート、そこで未来の学習成績に大きく影響すると言われるのが学習行動です。学習行動には3種類あると言われます。

- ① 習得型・・・与えられた学習には取り組める。
- ② 課題克服型・・・分からない部分を意識でき、適切な課題設定ができる。
- ③ 仮説検証型・・・「なぜ？」を考える癖があり、

自ら計画を立てて学びを深めていく。



タイプ	傾向	学習行動を、こう変えよう
習得型	時間をかけ、とても頑張る。だが、成績が伸びない。	○考える癖をつけよう!ただ問題を解くのではなく、解くポイントなど考えてみよう! ○質問に行こう!受け身からの脱却を!
課題克服型	行事などでは中心になって活躍。でも学習には向かっていかない。	○小さな目標を細かく立てよう!スキマ時間を活用しよう! ○定期的に学習状況を記録しよう!
仮説検証型	知的好奇心が高く思考力に優れる。だが、基本事項のヌケモレが多い。	○宿題、提出物を徹底しよう! ○今は関心がない分野でも、世界は多くの事象がつながり成り立っていることを理解しよう!

6月17日に美浜、若狭両町役場の方に、「地域の現状と課題」について報告していただきました。

2年論考 役場の方からの説明を受けて ~生徒感想より~

遊ぶ場所がたくさんある町。家族でショッピングできる場所が欲しい。

就職先が豊富で、経済的にも潤っている町に。

地域の方との交流が豊富であたたかい雰囲気がある町。地域愛のある人が多い町。

交通の便が良く、ご飯を食べるお店も多い栄えている

今の町にない新しいものを！

空気がきれいで自然豊かな町

私たちの未来

若い人も老人も楽しめる場所があると良い。

今の町にあるものを保ち続けて欲しい

朝に鳥のさえずりが聞こえ、外はきれいな緑が広がり、夜に蛙や鈴虫の鳴き声をする、そんな環境が保たれている町に。

若者の夢や文化がかなえられる町に！

過疎化がなく、活気のある町になって欲しい

観光客がたくさん来るようなPRが大切だ。

自然エネルギーの活用

若者が訪れたいくなる、住みたいくなるような町に！

昔から変わらない場所というのは、とても落ち着く。

- ・すべての課題には原因があることがわかった。抱えている課題は両町とも似ている。
- ・あるべき姿と今の姿を比べて差が出てくる。その差が課題なのだ。課題を解決するためには原因から調べていきたい。